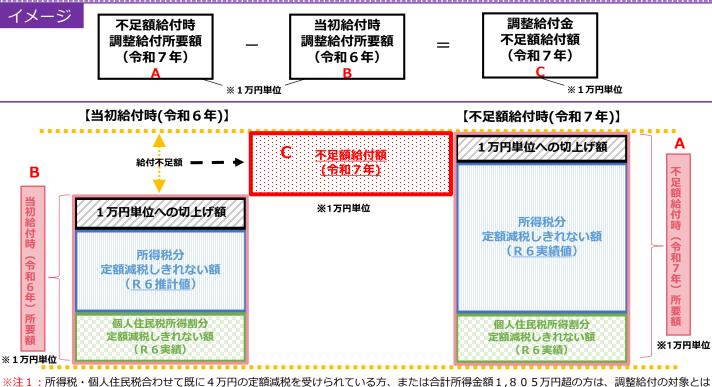


令和7年度東広島市定額減税補足給付金 (不足額給付)のご案内

当初調整給付の算定に際し、令和5年所得等を基にした令和6年分推計 所得税額を用いて算定したことなどにより、令和6年分所得税及び定額 減税の実績額等が確定したのちに、本来給付すべき所要額と、当初調整 給付額との間で差額が生じた方に対して、その差額を支給します。



※注1:所得税・個人住民税合わせて既に4万円の定額減税を受けられている方、または合計所得金額1,805万円超の方は、調整給付の対象とはなりませんのでご注意ください。

※注2:「不足額給付時調整給付所要額」(A)が「当初給付時調整給付所要額」(B)を下回った場合にあっては、余剰額の返還は求めません。

支給対象(要件)は裏面をご確認ください。





提出の方法

同封の返信用封筒をご利用いただくか、 次の窓口へ<mark>申請期限内</mark>に、ご提出ください。 申請期限:

令和7年10月31日(金)消印有効

提出先:東広島市役所8階東広島市不足額給付相談窓口



給付金の支給対象(要件)・手続き

(1)支給対象(要件)

- 令和5年所得に比べ令和6年所得が減少したことにより「令和6年分推計所得税額 (令和5年所得)」が「令和6年分所得税額(令和6年所得)」より多かった方
- こどもの出生等の理由から、扶養親族が令和6年中に増加した方
 - (注) * 令和6年8月以降に、「定額減税しきれないと見込まれた方」に対しては、当該減税しきれないと見込まれた額を基礎として、 調整給付(当初調整給付)を支給しております。
 - * 源泉徴収票等に「控除外額」が記載されている場合でも、定額減税補足給付金の支給額との間で差が生じない場合には、 不足額給付の支給対象とはなりません。
 - * 上記の支給対象(要件)に該当する場合でも、調整給付金(当初調整給付)の「確定額」と「支給済額」に不足額が生じない方は、

(2)確認事項及び必要な添付書類

■確認書または申請書

給付金を受け取るための金融機関口座情報等を記入してください。 代理人が給付金を受け取る場合は、代理人欄の記入が必要です。

■必要な同封書類

- ①本人確認書類
- ※健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード(表面)等、いずれか1点の写し(コピー)
- ②受取口座を確認できる書類
- ※通帳、キャッシュカード等の写し(コピー) (金融機関名、支店名、口座番号、口座名義人(カナ)が分かるもの)
- ③代理人による申請・受け取りを希望する場合は代理人の本人確認書類
- ▶申請書の方のみ必要書類 (上記①~③に加え)
- ※当初調整給付金の支給確認書、支給決定通知書などの写し(コピー)または、 令和6年度分個人住民税の納税通知書特別徴収税額通知書などの写し(コピー)
- ※令和6年分所得税の源泉徴収票または確定申告書の写し(コピー)



定額減税補足給付金(不足額給付)の

「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください!

自宅や職場などに都道府県・市区町村や国(の職員)などをかたる不審な電話や郵便があった場合は、市役所や最寄りの 警察署か警察相談専用電話(#9110)にご連絡ください。

また、都道府県・市区町村や国の機関を名乗るお心当たりのないメールが送られてきた場合、

メールに記載されたURLへのアクセスや個人情報を入力せず、速やかに削除していただきますようお願いいたします。

お問い合わせ

東広島市不足額給付事務処理センター



0120-780-125 (コールセンター)

受付時間 平日 8:30~17:15

※英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語対応